

生き生き

TUMA

つま

平成28年度

生き生きTUMA協議会総会

本年度も、「元気で明るく、だれもが大切にされるまちづくり」が始まる。ここに生きて良かった、ここに住んで良かった、とそう思える津万地区をこれからもつくっていきたい。

平成28年度 活動計画

全体会

- ◆天神池に鯉のぼりを揚げよう(4/23~5/14)
- ◆津麻乃郷あじさいまつり(6/12)
- ◆西脇子午線マラソン「へその市」出店
- ◆ファミリー駅伝ふるまい

広報研修部会

- ◆広報誌「生き生きTUMA」発行(年3回)
- ◆講演会・研修会
- ◆TUMAこい カフェの運営

生活環境部会

- ◆クリーン作戦
- ◆防災訓練
- ◆あじさい苗の育成・植栽

文化体育部会

- ◆八日山つつじ花見登山(4/17)
- ◆津麻の郷ハイキング
- ◆八日山登山整備
- ◆津万地区まちづくり計画再編

ごあいさつ



生き生きTUMA協議会
会長 徳岡 武義

津万地区の皆さんこんにちは。日頃より生き生きTUMAの活動にご理解・ご協力頂きありがとうございます。

3月5日(土)に念願のコミュニティカフェ・TUMAこいカフェをオープンすることができました。皆様の協力のおかげと思っております。オープン後、いろいろなことが見えました。自分の時間を割いて集まってくれるスタッフのみなさん、営業を重ねる毎に役割分担ができ、接客・料理・手芸とこんな多才な人達がいらっしゃることが驚きです。新しいことをやることで、驚きと感動そして感謝が生まれました。それが津万地区のちからになると思っております。これからも交流や憩の場として、TUMAこいカフェをご利用ください。

今後も積極的につながりを生む地域活動に、そしてそれを担う若手の育成に取り組んでいくことが、生き生きTUMAの活動と考えております。

さてこの度、津万地区まちづくり計画策定「他人が元気、自然が元気、まちが元気な私たちのふるさと“よっしゃ! やるで!! 生き生きTUMA”」より9年が経過しました。10年後の地域の将来像を考えながら、少子化・高齢化やライフスタイル等、社会情勢の変化に対応し、「地区まちづくり計画再編」に取り組みます。

将来の子どもたちに“すばらしいまち”であると誇れるように、その実現に向けてがんばります。



生き生きTUMA協議会
事務局長 柳田みどり

津万地区のシンボルであるあじさいの季節も終わりを迎えようとしています。

今年度の役員改選により、長年事務局長を務められた西嶋の藤原邦夫さんより、バトンを受け継ぐことになりました。

今、生き生きTUMA協議会は10年前にまかれた種が芽を出し、大きく花開こうとしています。あじさいの花いっぱい運動で津万地区の各地にあじさいの花が見られるようになりました。またあじさいの期間は多くの会員が関わり、津万地区の財産であるあじさい園を盛り上げました。

そして、津万地区の方々が気軽に立ち寄れる場所をつくりたいという長年の夢がかなってオープンした「TUMAこいカフェ」は順調に運営することができます。

今後も生き生きTUMA協議会により多くの仲間が集まり、活動の輪が広がるよう、事務局長として頑張りたいと思いますのでご協力ををお願いいたします。

さて、今年度は10年前に策定した津万地区まちづくり計画を、今後10年、20年先を見据えた計画に再編することになりました。少子高齢化、人口減少が急速に進む中、女性会、老人会、消防団、子供会などの団体活動が維持できにくくなり、区長さんをはじめ役員のなり手が不足している現状は今後ますます深刻になってきます。

支えあい住み続けたいと思える津万地区を目指し、地区を単位とした自治組織を考え直す時期が訪れています。再編委員会の皆様には大変ご苦労をおかけしますが、より良いまちづくりを目指しておおいに夢を語り合いましょう。

津万地区住民のおもてなし



民が西林寺のあじさい園の施肥や草引きなどの世話をするようになりました。

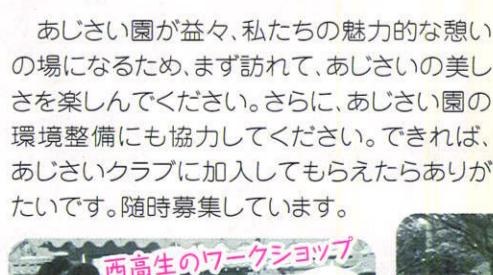
あじさいまつりに向け、ボランティアで協力した人は延べ250名。地域住民みんなで「都麻乃郷あじさいまつり」を盛り上げようとする気運が生まれてきています。

そして、いよいよ本番。当日の来場者は2,000名。「きれいに整備されているのに感激した」「花の品種が多くとてもきれい」など、うれしい声があちこちで聞かれました。

“あじさいまつり”

6月12日(日)

挿し木から育った
あじさいの販売



あじさい園開催中のトイレ掃除、まつり当日の駐車場係等の生き生きTUMAの活動を担う皆さんです。

町選出委員の皆さんを紹介します。

(下戸田)	石井 宏志 岡 成明 橋 口 鉄也
(上野)	高田 繁 前田 美代子
(上丘町)	森本 貴義 脇坂 幸代
(上戸田)	藤井 康精 高岡 千佐子
(津万)	高岡 雅昭 長井 芳男 徳岡 多加志 福井 米紀子 長井 まゆみ 徳岡 康雅 徳岡 咲一 稻垣 洋和 小澤 昭子 山崎 司子 木下 昭一 三和田 義則 藤井 樹美 芦田 美幸 木下 幸久 市川 敏陽 山本 昇一 柳田 晃兒 柳田 みどり 太田 岩男 太平 木清 寺前 信子
(嶋)	
(大垣内)	
(寺内)	
(西嶋)(蒲江)	
(坂本)	
(大野)	
(八日町)	

TUMAこいカフェ

に思う



「今日もたくさん来てくれるといいね。」

「また来たよ。」90歳を超えるおばあちゃんの笑顔、やさしい声。杖をつきながらも背筋を伸ばして訪れ、あたたかい笑顔のおじいちゃん。「うれしいよ。」スタッフの中の一人が「私の母は73歳で、父は83歳でこの世を去り、遠く離れたこの西脇で、どちらも突然その死を知らされました。この世に生まれ、苦労の連続の中、『人は話をすれば、必ず分かり合える。人を信じて生きなさい。』と教えてきました。笑う人もあるでしょう。でも、そう信じています。・・・」と話す。そして「何ひとつ親孝行もせず、弟のお嫁さんに任せきりでした。みんなごめんね。今、

笑顔がうれしい私

原田千鶴

田んぼの苗も青々と元気に育ち、農家の皆様も一息つかれています。

TUMAこいカフェに参加させていただいてから、早や3か月がすぎました。

お友達のお誘いでスタッフに加わり、気軽に皆さんに溶け込むことができたのは、役員さん方の人柄と熱心な意欲のおかけです。

一から意見を出し合い、ここまで積極的に活動されている姿に刺激を受け感動すら覚えました。

両親の体調を考慮しながらのお手伝いで、あまり役に立てていないのですが、カフェに行くと皆さんの笑い声に癒され、お客様と接することで自分自身も笑顔になり、やる気が出ます。何事も継続が大切です。津万地区の皆様に可愛がっていただけるようにスタッフ一同頑張っていますので、是非お越し下さい。お待ちしております。

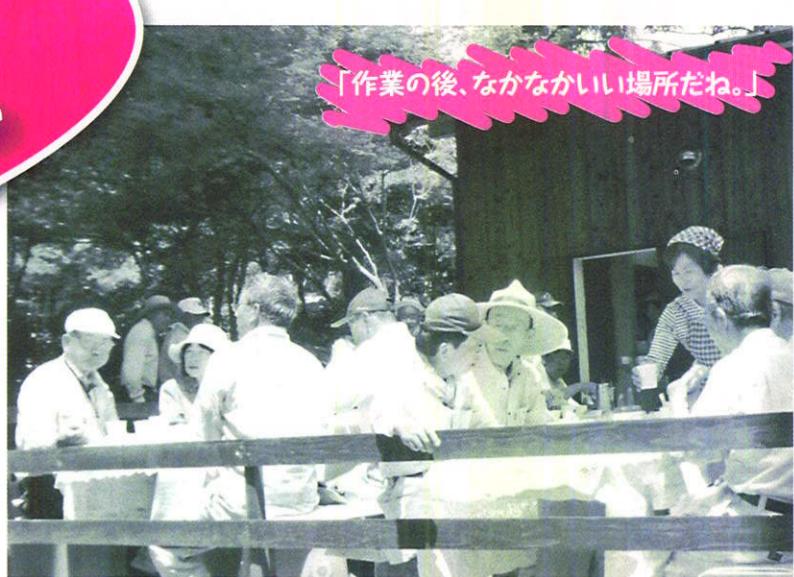
西高生活情報科生徒14名。
聴覚障害の方と交流。



交流の場として TUMAこいカフェを活用!



松岡佐知代さんに編み物
を教えてもらう。



TUMAこいカフェで、あの頃の私の両親に出会えている気がします。いっぱい話して、笑顔を交わしたいです。とも。

カフェの周囲は美しい緑に覆われ、やさしい風を届けてくれる。時折、幼い子どもの声がみんなの笑顔を誘い、ママ友の明るい笑い声がこだまする。みんな幸せになれるそうだ。



喫茶店のウエイトレス

藤岡早苗

喫茶店のウエイトレス。それは私の若かりし頃からのあこがれの職業。60歳も過ぎてからこの仕事に携わることができます、とても光栄に思っています。

お客様の笑顔、仲間同士の助け合い、笑いの絶えない場。これこそ私が求めていた茶屋です。

家と会社のみを行きかう毎日。私もようやく外の世界へと目を向け、遅ればせながら羽ばたき始めました。

世間のことは何も分からず、会社人間としての生活から解放され、新しい仲間との出会い、働く楽しさ、うれしさを味わっています。



皆様に愛されるTUMAこいカフェになるよう頑張ります。
またのお越しを楽しみにお待ちしております。



お知らせ

あじさい園

【挿し木】

7月9日(土) AM8:00~

【花落とし】

7月10日(日) AM8:00~

みなさんのご協力を
お願いします。



フェイスブックを始めています

活き生きTUMA協議会

検索